

独自要求に向け北信各県の情報共有

6月2日（土）に、福井県坂井市 ホテル荒磯亭において、北信地連県職現業代表者会議が開催されました。これは、昨年度一年間の県職現業の取組みの結果と本年度の現業統一闘争に向けた取組みを発表する会議です。開催県挨拶、全国幹事会報告・県職現業部会報告の後、北信4県（長野・富山・石川・福井）の情勢と活動状況を情報交換しました。



北信地連県職現業 各県の秋闘結果と課題

【長野県】農政部及び学校職場に導入された新たな雇用（特別行政嘱託員）について問題が生じている。今後、会計年度任用職員の導入により新たな雇用（特別行政嘱託員）がどうなっていくのか、話し合いを求めていく。任用替えの時の約束では、任用替職員の異動については本人希望を尊重するとのことだったが、パワハラまがいの方法で異動調書を書かされる事例があった。これについては強く抗議していく。本年度で現業創立から70周年であり、記念事業を計画している。基本組織の予算が厳しく予算が半分に減ったことから、活動の低下を招かないように工夫が必要である。

【富山県】第8回任用替試験において、受験対象者13名中2名受験で1名合格。農林水産部における試験研究機関の業務を踏まえつつ、業務に支障が生じない人員体制について、18年度の秋季闘争において結論が得られるよう努力する。正規職員の採用となれば、平成31年4月1日の採用に向け最大限努力するとの口頭確認を行っている。

【福井県】行政職へ転任した職員の行政1表5級に向けた昇任・昇格の確立。再試験を要求しているが厳しい。企画主査の年齢を50歳まで段階的に引き下げる運用を勝ち取る。技能労務職員の行政2表4級への昇格運用の改善。転任試験で結果が出なかった職員の給与水準維持に向けた再試験の実施。行政パトロール（業務委託試行）は継続。現在の業務委託試行について違法性がないか調査し、あれば是正させる。



福井県 小林会長



石川県 林副会長

【石川県】農業技術員について、正規職員の採用を検討するとの回答を引き出し、昨年4月から2名採用。前任者（本年度退職）が退職する前に技術伝承のため一年前倒しで採用させた。その他の職種についても農業技術員同様、新規採用を前提に協議を継続。退職手当の減額について粘り強く交渉し（午前3：45分妥結）、一定の成果を勝ち取った。やはり交渉は大事。現業の交渉により基本組織でも一定の成果を上げることができた。

各県の取組みを参考にして、更なる前進をめざします！